

青山台留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和6年度）

1 育成室の概要

（1）児童数・教室数（令和7年3月1日時点）

児童数 86人（うち配慮を要する児童6人）						教室数
内訳	1年	2年	3年	4年	5・6年	2教室
	25人	25人	20人	15人	1人	

（2）受託事業者

社会福祉法人光聖会（契約期間：令和6年4月～令和9年3月）

他に受託している育成室（千里丘北育成室、山三育成室、千二育成室）

2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点（0～3）
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	2
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	2
5	おやつの提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	2
8	配慮を要する児童（障がいを有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容をおおむね適正に履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が行われているが、一部改善が必要な項目がある。
- ②保護者アンケートの「お子様にとって年間を通して育成室はどの程度楽しい場所でしたか。」の設問で、全ての回答が「楽しい」と「少し楽しい」となっている。
- ③おやつの提供について、保護者アンケートの「おやつの提供について（栄養面、量、種類など）」の設問で、年度末に実施した結果では、「少し不満・不満」の回答の合計が合わせて約36%となっており、1学期・夏休み終わりに実施した結果から約26ポイント増加している。保護者や児童の声を聞いた上での改善に努められたい。
- ④個人的な事情があるとはいえ、主任指導員を始め、年度途中での担任指導員の退職が続いた。児童や保護者との信頼関係の構築には継続的な雇用が望ましいため、事業者としても定着率のより一層の向上などの改善が求められる。また、職員の保育の質の維持や職業定着率にも影響するため、研修に参加しやすい体制づくりについては、引き続き努められたい。